

8/28 『あなたはわたしを愛しますか』(ヨハネ21:15-19)

山村 論師

復活の主イエスと出会った弟子たちは、ガリラヤ湖畔で朝食を用意しておられた主イエスと、炭火を囲んで食事をしました。朝食が終わると、主イエスはペテロを連れて湖畔を散歩しながら、彼に特別に語りかけます。「ヨハネの子シモン。あなたは、この人たち以上に、わたしを愛しますか」。イエスに対する愛を問われました。ペテロはイエスと向き合わされ、自分の心も見つめさせられました。彼は答えました。「はい。主よ。私があなたを愛することは、あなたをご存じです」。

同じ問いが繰り返されました。イエスを愛するかどうかが問われ、それにペテロは真心から応答しました。主イエスは三度、愛を問われ、ペテロは心を痛めつつ三度の応答をし、ありのままの自分を主の前に差し出しました。この告白によって主のお取り扱いをいただき、痛みから解放され、新しく従う者へと変えられたのです。主への思いを鮮明にするところに、確かな主のお取り扱いがありました。

そして主イエスは、ペテロに明確な使命をお与えになりました。これも同じ事を三度、命じています。「わたしの小羊を飼い、羊を牧し、羊を飼いなさい」。教会を牧する務めへと任命する言葉です。イエスへの愛が、イエスの羊を飼う務めへと向かわせます。この厳粛な委託ゆえに、牧師や伝道者は絶えず主への愛と自己吟味を迫られなければなりません。また同時に、教会も大切な使命を自覚する必要があります。この主の言葉は、主のしもべであるキリスト者すべてに語りかけられている言葉でもあります。みながまことの良い羊飼いの厳粛な語りかけを聴くべき主の牧場の羊なのです。

主イエスはさらに語ります。「わたしに従いなさい」と。ペテロだけでなく、教会のリーダーたちだけでなく、ここに集まる一人一人に、主イエスは語りかけています。できないこと、やりたくないこと、行きたくない所に行くのだけ

同じ問いが繰り返されました。イエスを愛するかどうかを問われ、それにペテロは真心から応答しました。主イエスは三度、愛を問われ、ペテロは心を痛めつつ三度の応答をし、ありのままの自分を主の前に差し出しました。この告白によって主のお取り扱いをいただき、痛みから解放され、新しく従う者へと変えられたのです。主への思いを鮮

明にするところに、確かな主のお取り扱いがありました。

そして主イエスは、ペテロに明確な使命をお与えになりました。これも同じ事を三度、命じています。「わたしの小羊を飼い、羊を牧し、羊を飼いなさい」。教会を牧する務めへと任命する言葉です。イエスへの愛が、イエスの羊を飼う務めへと向かわせます。この厳粛な委託ゆえに、牧師や伝道者は絶えず主への愛と自己吟味を迫られなければなりません。また同時に、教会も大切な使命を自覚する必要があります。この主の言葉は、主のしもべであるキリスト者すべてに語りかけられている言葉でもあります。みながまことの良い羊飼いの厳粛な語りかけを聴くべき主の牧場の羊なのです。

主イエスはさらに語ります。「わたしに従いなさい」と。ペテロだけでなく、教会のリーダーたちだけでなく、ここに集まる一人一人に、主イエスは語りかけています。できないこと、やりたくないこと、行きたくない所に行くのだけれども、そこを神の素晴らしさが現される場とする。そう生きようとする。どこまでも主イエスに従う歩みを続ける。そういう歩みを通して神の栄光を現すよう召されています。「あなたはわたしを愛しますか」「わたしに従いなさい」。主イエスの語りかけを、姿勢を正して受け取り、真心から応答して生きたいと思いません。